

東京七座会

平成25年春号 (No.10)

風薫る五月、花屋の店先は色彩のシンフォニーでにぎやかなかぎりです。会員の皆様にはお変わりなく、お健やかに暮らしていることと存じます。

平成24年のふるさと会は、第24回東京七座会が6月24日に上野『K-Space』で、上京中の森則子さん(47)のお母様の参加もあり22名の出席で開催しました。

また、第25回東京鷹巢会は10月14日に、北秋田市制7周年を記念し首都圏合川会、東京ふるさと森吉会、東京圏あに会の旧4町ふるさと会による「合同ふるさと祭り」を九段下『ホテルグランドパレス』で開催され、4会からは目標を上回る285名と来賓44名の他アトラクションに出演する方など総勢360名余りの参加がありました。当会からは、山形県にお住まいの原田ミナさん名和ミネさん姉妹の参加もあり12名の出席でした。

※会員の動向については、以下の退会者により136名(他に下記住所不明8名)の会員数となっております。

退会者	住所不明者	
藤田 久男(死亡)	小笠原弘美	葦山 栄子(熊谷)
藤嶋 コト(死亡)	佐藤賢四郎	野呂 行雄
仲村 重光(帰郷)	仲谷 国男	藤田 敏
横峰 礼子(都合)	成田 寛	渡辺 正泰《順不同敬称略》

住所不明となられてる方々については皆様からの情報をお寄せ下さるようお願いいたします。



森則子さん母娘



原田ミナさん名和ミネさん姉妹



七座のあれこれ



【七座神社】 主祭神 国常立尊・国狭槌尊・豊斟淳尊・伊弉諾尊・伊弉冉尊・菅原道真尊
 齐明天四年(659)阿部比羅夫が創建・別名「天神七座神社」・山号七座山。

齐明天皇四年(658)、阿倍比羅夫が水軍を率い、蝦夷エシ征伐のためこの地まで赴いたこの軍に対し、齋田アキタ(秋田)・淳代ヌシロ(能代)・肉入籠シシロ(綴子)の蝦夷は「私たちは弓矢を持っていても決して敵対するものではない。齋田の浦神(七座山天神宮)に誓って申し上げる」と許しを乞うた。首長恩荷オガのこの言葉に、比羅夫は彼等の降伏を認め、馳走してねぎらい、七座神社には船一隻と五色の綵帛シメキヌ(絹織物)を奉納して、この地域の平和と発展を祈願したと云う(『日本書紀』に拠る)。また、天正十八年(1590)、豊臣秀吉が北條氏を討ち果たした際、故あって織田信雄公が秋田に流された。その時、家臣浜田与衛門が主君のため一心に七座天神宮に祈願し、その御加護によって無事帰ることができたと伝えられている。藩主佐竹公も代々、七座神社を信奉し、巡国のたびに詣で、掛軸や刀剣類を奉納し、社殿の造営にも多額の幕財を献じている。明治十五年、県社(秋田県)に列せられる。もともと、境内から米代川に通ずる石段を上り下りしての参拝だったのは、阿倍比羅夫が船を繋いだと云う故事によるものであり、今なお、その古ぼけた四十三段のきだはし(階)は、信心の篤い崇敬者の「お参りの道」となっている。(以上、秋田県神社庁発行『秋田県神社名鑑』に拠る)



【後記】「七座」は旧鷹巣町七座地区ですが七座村が前身で七座神社・七座山から命名されています。残念ながら、これらは二ツ井の天神地区(小繫、麻生、下田平)となっていますが「七座」という地域呼称は私たちの「ふるさと」の事として使われています。